

乱視 (らんし)

主な症状

ものが2重に見える。ゆがんだりかすんで見える場合もあります。疲れやすい。

どんな病気？

乱視は主に角膜と水晶体の形状でおこります。角膜と水晶体を通る光の方向によって屈折する力が違う場合に網膜上の像が一点に結ばない状態をいいます。つまり、角膜がまん丸のドーム型の形ではなく、ラグビーボールのように楕円球の形のため、眼にはいる光が強く屈折する部分と、弱く屈折する部分があるため、網膜には2つの像ができ、2重になった像が映し出されます。像が2重に見えるためだぶったり・ぼやけて見えるように感じます。この状態を乱視と呼びます。

また、物がだぶって見える場合に「私は乱視が強い」と言われる方が多いですが、実際のところ乱視はあまり強くなく、単なる近視であることがよくあります。乱視の場合でも二重になるのではなくぼやけて見えたりしますので、ご本人の自覚的な見え方だけではその原因が何なのかは判別できないわけです。

対処Q&A

Q 検査のみ所要時間は？

A 30分

※眼鏡処方の場合+20分

※コンタクトレンズ検査の場合+30分(ただし初心者は装用練習や取扱い説明にさらに50分程度必要となります)

Q 乱視は疲れやすいのですか？

A 乱視の場合は特に細かな物をみる場合に影響が出ます。また、近視や遠視を伴う場合が多く、勉強や近くの細かな作業には特に疲れがでやすいようです。

コンタクトレンズやメガネ装用者へのアドバイス

乱視の場合、メガネや乱視用ソフトコンタクトレンズ、ハードコンタクトレンズで矯正が可能です。不正乱視・円錐角膜には、メガネや乱視用ソフトレンズでは矯正ができないのでハードコンタクトレンズや円錐角膜用ハードレンズで矯正します。



月額1,890円(両眼)からの定額制コンタクトレンズ『メルスプラン』!

メルスプランは、月額1,890円からの毎月定額の料金で高酸素透過性のハードレンズや新素材シリコーンハイドロゲル使い捨てソフトレンズ(2週間使い捨て)等メニコンの全てのコンタクトレンズから選ぶことができます。新素材シリコーン使い捨てソフトレンズは乾燥を軽減し、ハードレンズ並みの高酸素透過性もあります。また、使用者のニーズや目の状態に合わせて種類変更もできます。

米倉眼科

滋賀県の守山市と草津市の南草津に医院をもち、一般眼科診療、白内障の手術、コンタクトレンズ、メガネ処方などを行っております。

守山本院 TEL 077-583-2134

JR守山駅前西口小島ビル5F 定休日：木曜午後、日曜、祝日

南草津分院 TEL 077-569-1288

JR南草津駅徒歩3分(MNK-3ビル)3F 定休日：水曜日、日曜、祝日